

参 考 資 料

— 参 考 資 料 目 次 —

1. 平成28年度結核感染症課予算(案)の概要	資 - 1
2. ジカ熱に関する情報提供及び協力依頼について（自治体宛て）	資 - 3
3. ジカ熱に関する情報提供及び協力依頼について（検疫所宛て）	資 - 5
4. 新規H I V感染者・エイズ患者報告数、検査・相談件数推移・・	資 - 8
5. 平成27年度H I V検査普及週間における検査・相談体制	資 - 9
6. 平成27年度「世界エイズデー」前後における検査・相談体制	資 - 10
7. エイズ治療拠点病院選定状況	資 - 11
6. H I V診療等に関するマニュアル・ガイドラインについて	資 - 16

平成28年度結核感染症課予算（案）の概要

1. 感染症対策

(単位：千円)

平成27年度 予算額	平成28年度 予算額（案）	差 引 増△減額	伸 率
千円 [14,211,359] (9,428,741) 7,822,414	千円 [16,433,977] (11,734,845) 10,031,069	千円 [2,222,618] (2,306,104) 2,208,655	対前年度 +15.6% 対前年度 +24.5% 対前年度 +28.2%
改正感染症法の完全施行(平成28年4月)に伴い、情報収集・検査体制の強化を進めるとともに、新型インフルエンザ等の感染症の発生に備え、プレパндеミックワクチンの備蓄、特定感染症病床の設備整備等を行う。			
1. 感染症の発生・拡大に備えた事前対応型行政の構築	[2,508,757] [5,033,926] 2,144,368 → 4,633,546		
⑨・プレパндеミックワクチンの備蓄経費	2,409,181		
・感染症発生動向調査事業費〔負担金〕 補助率：1/2	752,262		
・感染症対策特別促進事業費〔補助金〕 補助率：1/2・10/10	344,907		
うち結核対策特別促進事業（DOTS事業等） 補助率：10/10	256,549		
・インフルエンザ薬剤耐性株サーベイランス事業費	77,338		
・病原体等管理体制整備事業費	56,207		
⑨・病原体検査実施支援費	39,105		
(参考)平成27年度補正予算案 ・抗インフルエンザウイルス薬の備蓄経費等	31億円		
2. 良質かつ適切な医療提供体制の整備	[4,494,681] [4,289,876] 4,494,681 → 4,289,876		
・結核医療費〔負担金・補助金〕 補助率3/4・1/2 (冲縄：1/2・3/4・8/10・10/10)	3,538,978		
・感染症指定医療機関運営費〔補助金〕 補助率1/2	728,378		
・保健衛生施設等施設整備費補助金 補助率1/2	2,019,000の内数		
・感染症指定医療機関、新型インフルエンザ患者入院医療機関施設			
・保健衛生施設等設備整備費補助金 補助率1/2	1,560,000の内数		
・感染症外来協力医療機関設備（個人防護具・HEPAフィルター・パーティション・空気清浄機の補助）			
・新型インフルエンザ患者入院医療機関設備（人工呼吸器、PPE、簡易陰圧装置の補助）			
⑨ 特定感染症病床の設備整備（保健衛生施設等設備整備費補助金へのメニュー追加） 補助率10/10			
3. 感染症の発生予防・防止措置の充実	[1,291,021] [1,388,955] 602,031 → 602,031		
・感染症予防事業費〔負担金〕 補助率1/2・1/3	600,000		
4. 調査研究体制の強化	[3,849,462] [3,745,584] 438,458 → 438,458		
・結核研究所補助〔補助金〕	403,759		
・ワクチン製造供給事業総合対策費	34,699		
・厚生労働科学研究費			
・新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究	2,072,040		
・新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究	238,855		
・HTLV-I関連疾患に関する研究（一部再掲）	1,000,000		
5. 人材育成の充実及び国際協力の強化	[552,142] [536,310] (51,021) (51,023) 29,074 → 28,674		
・政府開発援助結核研究所補助〔補助金〕	16,958		
6. 動物由来感染症対策	[116,032] [40,714] 113,802 → 38,484		
・動物由来感染症対策費（感染症発生動向等調査費）	20,614		
・動物由来感染症対策費（感染症予防対策費）	16,997		
7. その他	[1,399,264] [1,398,612]		

2. エイズ対策

(単位：千円)

平成27年度 予算額	平成28年度 予算額(案)	差 引 増△減額	伸 率
千円 [4,680,046] (1,392,806) 1,392,806	千円 [4,493,591] (1,392,809) 1,392,809	千円 [△186,455] (3) 3	対前年度 △4.0% 対前年度 +0.0% 対前年度 +0.0%
HIV感染やエイズの発症予防のため、焦点を絞った普及啓発や、保健所等において、夜間・休日など利用者の利便性に配慮した検査・相談を行う。また、HIV感染者・エイズ患者への在宅医療・介護を含む医療体制の整備を図るとともに、感染者等の生活の質を高めるため、電話相談やカウンセリング等を行う。			
1. 原因の究明・発生の予防及びまん延の防止	[329,623]	[324,915]	
・エイズ発生動向調査経費	328,947	→ 324,247	
・血液凝固異常症実態調査事業		3,125	
・HIV感染者等保健福祉相談事業		8,576	
・保健所等におけるHIV検査・相談事業〔補助金〕 補助率1/2		47,370	
		265,176	
2. 医療等の提供	[834,569]	[841,617]	
・HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業	783,000	→ 789,956	
・中核拠点病院連絡調整員養成事業		46,796	
・HIV診療医師情報網支援事業		12,087	
・地方ブロック拠点病院整備促進事業〔補助金〕 補助率10/10		13,900	
・血友病患者等治療研究事業〔補助金〕 補助率1/2, 10/10		218,552	
		492,996	
3. 研究開発の推進	[2,027,189]	[1,925,656]	
厚生労働科学研究費			
・エイズ対策政策研究経費		608,727	
・エイズ対策実用化研究経費		569,595	
4. 国際的な連携	[124,138]	[105,128]	
・エイズ国際協力計画推進検討事業	8,638	→ 3,128	
・エイズ国際会議研究者等派遣事業		835	
		2,293	
5. 人権の尊重・普及啓発及び教育・関係機関との新たな連携	[1,062,127]	[993,875]	
・NGO等への支援事業	158,821	→ 162,078	
・「世界エイズデー」等啓発普及事業		132,591	
・青少年エイズ対策事業		22,942	
		915	
6. 都道府県等によるエイズ対策促進	[113,400]	[113,400]	
・エイズ対策促進事業〔補助金〕 補助率1/2	113,400	→ 113,400	
		113,400	
7. 国立研究開発法人国立国際医療研究センター運営費交付金	[189,000]	[189,000]	

※1. []内の数字は厚生労働省計上分

※2. ()内の数字は健康局計上分

※3. []で囲んだ事項は他課計上分

平成 28 年 1 月 21 日

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

ジカ熱に関する情報提供及び協力依頼について

南米を中心に感染が確認されているジカ熱に関して、昨年、ブラジル保健省は、妊娠中のジカ熱感染と胎児の小頭症に関連がみられるとの発表をしており、本年 1 月 15 日には、米国 CDC が、妊娠中のジカ熱感染に関してより詳細な調査結果が得られるまでは、流行国地域への妊婦の渡航を控えるよう警告を発出しました。それらを踏まえて、別紙のとおり、国立感染症研究所において、流行国地域への渡航及び国内でのジカ熱の流行に関するリスクアセスメントを行った結果、「詳細な調査結果が得られるまで妊婦の流行国地域への渡航は可能な限り控えた方が良いこと」、「国内での症例の発生に備え、神経症状の合併の可能性について、臨床医が認識していることが望ましいこと」から、ジカ熱の検査や診断について、下記のとおり、御協力をお願いします。

1. 検査依頼について

貴管内において、医療機関からジカ熱を疑う患者への対応についての相談や情報提供があった場合には、厚生労働省健康局結核感染症課に情報提供をお願いします。また、ジカ熱の検査を実施する場合には、国立感染症研究所のウイルス第一部と相談の上、検体搬送等の御協力をお願いします。

2. 医療機関の情報提供について、

1) 医療機関において、下記の情報を参考に、渡航歴や臨床症状等からジカ熱の可能性が考えられる患者を診察した場合には、最寄りの保健所に情報提供をお願いします。

2) ジカ熱の臨床上的特徴

(1) 症状

主として軽度の発熱（ $<38.5^{\circ}\text{C}$ ）、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、疲労感、倦怠感などを呈する者（一般的にデング熱、チクングニア熱より軽症だが、血小板減少などが認められる場合もある）

(2) 潜伏期間 3 日～12 日

(3) 感染経路 ウイルスに感染した媒介蚊の吸血によりヒトへ感染

3) ジカ熱の流行国地域

本年1月15日時点で、ブラジル、コロンビア、エルサルバドル、仏領ギアナ、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、マルティニーク、メキシコ、パナマ、パラグアイ、プエルトリコ、スリナム、ベネズエラ

また、貴管内医療機関に対して、本件について情報共有いただきますようお願いいたします。

なお、ジカ熱に関する情報は、厚生労働省や国立国際医療研究センター等のホームページで提供されておりますので、業務の参考としてください。

(参考資料)

別紙：国立感染症研究所「ジカウイルス感染症（ジカ熱）のリスクアセスメント」

厚生労働省HP「ジカ熱について」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

検疫所（FORTH）海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/topics/fragment5.html>

蚊媒介感染症専門医療機関一覧 一般社団法人日本感染症学会

http://www.kansensho.or.jp/mosquito/medical_list.html

国立国際医療研究センター ジカ熱

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/?logout=1>

外務省 海外安全ホームページ

http://www2.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/pcspotwideareainfolist.asp?pageno=1&expireflg=0□

WHO Zika virus

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/zika/en/>

CDC Zika virus

<http://www.cdc.gov/zika/>

(連絡先)

厚生労働省健康局結核感染症課

電話：03-3595-2257 〈夜間・休日〉 090-8940-9123

国立感染症研究所ウイルス第一部第2室 室長 高崎智彦

電話：03-5285-1111（内線 2930）

国立国際医療研究センター

電話：03-3202-1012 〈休日・夜間〉 代表 03-3202-7181

各検疫所 御中

健 康 局 結 核 感 染 症 課

医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部
企画情報課検疫所業務管理室

ジカ熱に関する情報提供及び協力依頼について

南米を中心に感染が確認されているジカ熱に関して、昨年、ブラジル保健省は、妊娠中のジカ熱感染と胎児の小頭症に関連がみられるとの発表をしており、本年 1 月 15 日には、米国 CDC が、妊娠中のジカ熱感染に関してより詳細な調査結果が得られるまでは、流行国地域への妊婦の渡航を控えるよう警告を発出しました。それらを踏まえて、別紙のとおり、国立感染症研究所において、流行国地域への渡航及び国内でのジカ熱の流行に関するリスクアセスメントを行った結果、「詳細な調査結果が得られるまで可能な限り妊婦の流行国地域への渡航は控えた方がよいこと」、「国内での症例の発生に備え、神経症状の合併の可能性について、臨床医が認識していることが望ましいこと」から、検疫所においては、リーフレット（別添）の設置等により、流行国地域への渡航者に情報提供を行うとともに、入国時の健康相談者において、下記情報の臨床症状等からジカ熱の可能性が考えられる場合には、蚊媒介感染症専門医療機関の受診を勧めるとともに、受診の際には医師にジカ熱の感染の可能性について申し出るよう助言等ご配慮願います。

また、ジカ熱の可能性が考えられる者がいた場合には、検疫所業務管理室までご一報ください。

記

1. ジカ熱の臨床上的特徴

(1) 症状

主として軽度の発熱（ $<38.5^{\circ}\text{C}$ ）、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、疲労感、倦怠感などを呈する者（一般的にデング熱、チクングニア熱より軽症だが、血小板減少などが認められる場合もある）

(2) 潜伏期間 3 日～12 日

(3) 感染経路 ウイルスに感染した媒介蚊の吸血によりヒトへ感染

2. ジカ熱の流行国地域

本年 1 月 15 日時点で、ブラジル、コロンビア、エルサルバドル、仏領ギアナ、グアテ

マラ、ハイチ、ホンジュラス、マルティニーク、メキシコ、パナマ、パラグアイ、プエルトリコ、スリナム、ベネズエラ

(参考資料)

別紙：国立感染症研究所「ジカウイルス感染症（ジカ熱）のリスクアセスメント」

別添：リーフレット（中南米地域で「ジカ熱」が流行していますー 特に妊婦の方はご注意くださいー）

厚生労働省HP「ジカ熱について」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

検疫所（FORTH）海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/topics/fragment5.html>

蚊媒介感染症専門医療機関一覧

http://www.kansensho.or.jp/mosquito/medical_list.html

国立国際医療研究センター ジカ熱

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/?logout=1>

外務省 海外安全ホームページ

http://www2.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/pcspotwideareainfolist.asp?pageno=1&expireflg=0

WHO Zika virus

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/zika/en/>

CDC Zika virus

<http://www.cdc.gov/zika/>

中南米地域で「ジカ熱」が流行しています

— 特に妊婦の方はご注意ください —

【症状】

主として軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などを呈します。これらの症状は軽く、通常、2～7日続きます。

【治療等】

対症療法となります。通常は比較的症状が軽く、特別な治療を必要としません。

【予防対策】

海外の流行地域に渡航される際は、蚊に刺されないように注意しましょう。長袖、長ズボンの着用が推奨されます。また蚊の忌避剤なども現地では利用されています。

【流行地域】

アフリカ、中央・南アメリカ、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。

※平成28年1月15日時点流行地域（米国CDC）

ブラジル、コロンビア、エルサルバドル、仏領ギアナ、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、マルティニーク、メキシコ、パナマ、パラグアイ、プエルトリコ、スリナム、ベネズエラ

【妊婦の方へ】

近年、ブラジルにおいて小頭症の新生児が増えており、ジカウイルスとの関連が示唆されています。このため、妊婦の方の流行地域への渡航を控えたほうが良いとされています。やむを得ず渡航する場合は、厳密な防蚊対策を講じることが必要です。

【流行地域に渡航される方へ】

【渡航中】

流行地域では、長袖、長ズボンや着用、蚊の忌避剤を使用し、蚊に刺されないように注意しましょう。

【帰国時、帰国後】

すべての蚊がジカウイルスを保有している訳ではないので、蚊にさされたことだけで過分に心配する必要はありませんが、心配な方や発熱等の症状のある方は、帰国された際に、検疫所でご相談ください。

また、帰国後に心配なことがある場合は、最寄りの保健所等にご相談ください。

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>



FORTH